

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	意見公募は、光の道を一本化することを既定のこととして、それに対する意見を求めているようですが、本当に一本化が絶対なののでしょうか。一本化が唯一無二の方策なののでしょうか。そのことの議論、論証はつくされているのでしょうか。交通では、道路、船、航空機等が競争して、人や荷物を運ぶことにそれぞれ得意の分野又は過去培ってきたノウハウを駆使して他者より優位に立とうとすることで全体の効率化が実現しているのではないのでしょうか。無駄な競争も多々あり、個別の事象では不合理がありますが、見えざる手により収斂していく姿が市場競争の社会であるはずで。情報の世界でも同様のことがいえるのではないのでしょうか。アプリケーションの開発を国が引受けるわけにはいかないし、民間で開発を担うとすれば、そのインセンティブの観点からユーザーの困り込みもある程度必要でしょう。競争を妨げない範囲で、開発に関する障害や困り込みによる弊害をより少なくする方策を講じることこそ政府の役割ではないでしょうか。拙速の結果、取り返しのつかない愚策に迷走することのないよう、望みたいものです。